

時局擔當の資格と政黨

昭和七年九月十五日（月六回）五日十月十五日廿日廿五日卅日
（第三種郵便物認可）發行日

……はリスク
堂生資
町濱名小
番四四一話電

時局擔當の資格と政黨

國民生活の徹底は國家生存の第一要諦にして、破綻に瀕し己に
の意義であり、政治の要諦で我國民上下をして、困難來の
ある國民福祉の増進に從ひ感あらしむべき三十五年は追
國威に揚り國運の伸張之りつゝ、あるも此國際政局の
れ顯るのである。明治大帝重大に處し克く担当し得べ
の夙に國民福祉の上に御政を政治の資格を政黨者流
念遊され五個條の御誓文に於て、國民の利益を擁護するの
則り萬機公論に決する處、是より大なるはなし
會政治を以て國家政治の本天下に公黨なく唯だ政治
源となし給ひ國民の恩澤ローカ而已多からんか其の
に浴する恩恵の渾きに誰か國政即ち國民の信頼を得べ
感泣せざるものあらん、然き政治を政黨政治に期待し
るに近來政治家の此の聖旨得ず、唯だ危懼と不安との
に、近來政治家の此の聖旨得ず、唯だ危懼と不安との
に、近來政治家の此の聖旨得ず、唯だ危懼と不安との
に、近來政治家の此の聖旨得ず、唯だ危懼と不安との

公人の身邊に情實を作る

道徳より觀たる秘密の存在

健康と幸福を要求せんとは、活の欠陥である。内修を怠
るのみならず、徒に黨是黨非して憲政有終の美を成さん
に、捉われ真に國是國憲を重んずる上、聖帝の遺徳に對し
んせず政黨は一の私黨と化率り下又國民此處に倚らむ
し、朋黨比個己の利害による一途、あれは我々國民の政能
り行動する政治家多く其弊、政黨政治家に信頼したる謂因
今日より夥しきはなし。見である近來政黨と稱するも、
よ當路の大官類々として疑の國民に説くに政治家とし
獄の渦中であり、而かも政黨に國家百年の経綸時局に對し
出身にあらざれば多く政黨の抱負よりも、鐵道港灣と幸
と結託せざるもの少く、現時に地方民を喜ばせ張扇子よ
國歩艱難内外經濟界の不安ろしく、手前味附をつけ常
は國民生活に重大危局を齎我黨天下で國民を購著した
し、世界大戰後の國際政局はした結果大底の馬鹿も考へ

失樂園

克くなす能はざる事なるも、實を持つ關係が突ひなした
世界一般に此情勢を意識したのである。斯る問題に地方自
改善を計りなば、案する如く活体及公共團體にも、續出な
く困難として、又効果を得るべきの方法を秘密と云ふので
待し得る事が出来得ると、信の方法を秘密と云ふので、
す吾人は提言する政策として、世間に公開出来得ない間
て、精神教育の積極的進出で、題そのものを秘密と總稱し
ある現今世界道徳觀の是正、手段目的の全部含まれる居
である吾人は更に最も大切の、其結果國家社會の
もの一つとして考ふもの、に損害を與へたると否とを故
は吾人の世界生活の様式改、は其目的が不正不道徳
善である、茲に吾々が持たざれば、矢張り見逃す事の出
つもの、大分を支配するも、來ない世界生活の返逆者で
のは公開せられざる、或も個人として秘密を避けて、
である、即ち秘密である秘密、世に疑問の中心とならざる
とは世間に於て自己以外に、こと、に於てこそ平和と幸福
知るものなき場合又は自己なる世界生活を含み得るの
利害を共にする事以外、秘密は個人共に喜で、賄政の總
に知るものなき場合、云ふ行為でない「職したるに、是は
ふ。此秘密を少なくする事、より現はる事なし」秘密言は
るべく作らざる事が是れ、何時にても白日の下に其醜
ある之れは、世界に働き掛ける、何時にても白日の下に其醜
する以前も、又其醜路に於て、密と云ふ事は世の耳目を
悪態を遣はせせず、世界國家に惡魔の跳梁を助け居るも
に於ても、發表を擧げる物の秘し、秘し秘し秘し秘し秘し
密に於ても、世界國家の疑念が生ずる、秘し秘し秘し秘し秘し
るのである、今吾人の論ずる、せしむ機能を有するもので
必要範圍に重に公吏官吏、之れ共存上夫の安全感を、ま
して、國家社會に任する、得るに、其回復を計るは、食
達を指すのであるが、秘密は、菌細胞が病原菌を、殺滅し
行ふ方法即ち手段にて、目的を治癒して、健康の回復に、
は自ら他にあるのである、が、むと同様である、之、平
目的が不正若しくは不徳、生命ある謂因である、換言せ
あるからである、云ふて何、大自然の法則である、此、
等公開の必要なきもの迄、公理を無視して、人間社會が
開せよと云ふには、あらず、在し得ないものである、「忍
に身邊の情實を多く作らざれども、之れ天意である、天
は地又知り己知り又、手もぬように中々煩雜なる手

（二面五段ニ續ク）

漫筆はれま



杜鵑來り啼て晚春の名残りに糸を垂れ涙を採る又趣き
はつき初夏の情景頻りに富む花より團子味覺の領
催しぬ、月光淡く軒頭の風分に入り酒は初夢、男山等
は雁を動せば風鈴誘はれてと昔の洒落しを其儘に灘生
其音涼しく月魂一枝開一本、地方正宗でもよし先
く血に鳴き盡くして満山のづ着に潑刺たる松魚を調理
躑躅林約として佳人の情炎して歌の鹽焼、鯛の潮煮な
に燃ゆるが如き深紅に染めどと發澤は云はぬ、本年は
られて宛から血の涙に似ても安く願る新鮮なるもの
たり僕の友人福島に旅行の多く松魚の喰時である「初
途上登越線江田附近車窓の鑑山はととぎす目山椒」僕
外に目を遣れば満山緑壁をの少年の頭山形縣より一團
綴る濃淡色とり、霧に和休阿爾非嶽參拜方々演見物
し水に映り錦の帳りにも勝に來り宿で十數本の松魚を
れりと喰せり之れは或る刺身にし一個少隊位の連中
地方にて一の花と稱する一いざ平らげんとする際一齊
種獨特のものなり然し之れに向ふ餘念となりぬ。
は立体的の眺めなるも勿來惹を添へて用意周到の有様
關趾附近又は劍豪等は展望に女中仰天して居る内一同
の雄大なるに相対視線の戦闘に取掛り如何にも物足
及ぶ所萬畫の青蓮之れに彩りない容子女中連中に美味
る深紅の花紋の如く眼界阻いでいと云へば、なん
きものなき海洋に万頃のた少しも酔はない生きが
蒼浪碧波と伍し水天彷彿のいと松魚と酒と間違ひ居る
間に常盤の各山新粧を凝らし之れはふるまいと中
〇〇するに似たり、天人一毒患者ならん又常盤線開通
如羽化登仙の感あり千萬長直後湯殿山の先達に水詣め
者の襟懷も又之に惹かさらして松魚を贈りたるに村人集
ん、加ふるに佳人と酒をりて珍らしがりの之れが節の
以てすれば世の幸福を一身親だんべいか、ナル程節
に集めたる如し、同感の語は練りものでないとなご云
君一つドライブしては如何へり、舊五月中の申は昔か
勿來劍豪等の眺めは平面的に相馬の野馬追ひが行はら
にて男性的なり、つしはれ居る相馬舊藩時代からの
や、少くも眺望に於ては小遺風此祭りを供進する神様
名濱港附近の三崎臺又好個は御利益イヤチコの妙見神
場處である、海岸に近く磯社 （以下次號）

良品廉賣に勝る商略なし
警城セメント 特約代理店
釜屋商店
警城平町五丁目
電話九番・九九番
東京警振貯金口座 〇九五六

白石薬舗
小名濱町中島通り 電話三三番

大衆読物
月遅れ雑誌あり
掘出物単行本あり
賞下を感安する珍本あり
安値なる伴侶は是れ

古本・雑誌・高價買入
小名濱町中島通り
布袋屋書店

内山時計店
指輪、眼鏡、密着
音器、ラヂオ
附品、一式
修理、正、迅
目下リノ高級萬年筆特賣中
電話四十九番

馬目タクシ
小名濱町
電話三八番

中村瀧次
小名濱町西町

高級薬品	名賣小間	縫用具	品食料	縫用品	品食料	縫用品	品食料
高級薬品	名賣小間	縫用具	品食料	縫用品	品食料	縫用品	品食料
高級薬品	名賣小間	縫用具	品食料	縫用品	品食料	縫用品	品食料

銘酒は
清世界
見習徒弟入用十四才より
至急募集

松崎 勤
小名濱小學校正門前

樋口吳服店
小名濱町中島通り

警城水産工業株式會社
社長 小野 伊太郎
支店長 福尾 伊太郎
小名濱町 電話六六、百十番
大正火災保險株式會社代理店

小島履物店
小名濱町中島通り

小名濱眼科醫院
小名濱町

宮津醫院
小名濱 電話一四二番

佐瀬醫院
小名濱 電話一三五

平川醫院
江名町 電話二六

上田外科醫院
平町南町 電話二九

池部齒科醫院
江名町

木田齒科醫院
小名濱町電話一〇五

久保田醫院
小名濱町電話二番

本院 植田町
眼科專門 鈴木眼科醫院
分院 小名濱町古港

小名濱眼科醫院
小名濱町

宮津醫院
小名濱 電話一四二番

佐瀬醫院
小名濱 電話一三五

平川醫院
江名町 電話二六

上田外科醫院
平町南町 電話二九